

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
鍼灸実技1							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験	
鍼灸学科・昼間部	2年	1・2期	岡本 貴姿子			○	
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	実習			実技	2	20	
科目概要							
<p>経絡治療をするにあたっての脈の見方やその意味を解るようにする。又深く鍼を刺さなくても治療ができるようにする。実際クラスメイト身体を借りて脈診や触診をするので、相手に不快感や違和感を与えないよう触診ができるようにする。</p>							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>		鍼灸師として日本の代表的な鍼灸術の1つである経絡治療を実践できるようになるために、経絡治療の基礎である難経六十九難の知識と技術を身につける。					
到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>		1. 経絡治療の歴史を知る。 2. 初心者向けの69難型を用いての治療ができるようにする。 3. 69難型の脈診ができるようにする。					
履修に必要な予備知識や技能							
コミュニケーション能力、社会人基礎力							
教科書・参考書							
東洋医学概論、経絡経穴概論、プリント配布							
受講上の注意							
この授業は与えられた知識を覚えるのではなく自ら考え実践する事が求められます。又実際にクラスメイトの身体を借りて触診をするので爪の手入れ(長い爪は不可)を行い参加すること。遅刻したは自己責任で申しでること(無い場合は欠席扱い)。授業中のスマホ、携帯は厳禁(バックの中にしまっておくこと)							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)			30	60		10(出席率)	100
実技試験実施要項							
回数	授業内容				教科書	教材・持ち物	
第1回	経絡治療総論				東概	私服	
第2回	病理2分論比較脈診について、69難について				東概、プリント	私服	

令和4年度 授業計画書(シラバス)

第3回	脈診実技、取穴実技(69難ベース)	プリント、経概	患者着
第4回	脈診実技、取穴実技(69難ベース)	プリント、経概	患者着
第5回	脈診実技、取穴実技(69難ベース)	プリント、経概	患者着
第6回	一般治療で使う穴の習得 (肩関節痛、頸肩腕痛)	プリント、経概	患者着
第7回	一般治療で使う穴の習得 (腰痛、膝痛)	プリント、経概	患者着
第8回	一般治療で使う穴の習得 (肩関節痛、頸肩腕痛、腰痛、膝痛)	プリント、経概	患者着
第9回	4人ペアでの経絡治療(69難ベース)	プリント、経概	患者着
第10回	4人ペアでの経絡治療(69難ベース)	プリント、経概	患者着
第11回	4人ペアでの経絡治療(69難ベース)	プリント、経概	患者着
第12回	4人ペアでの経絡治療(69難ベース)	プリント、経概	患者着
第13回	刺絡紹介、脈診実技、取穴実技	プリント、経概	患者着
第14回	塩灸実技、脈診実技、取穴実技	プリント、経概	患者着
第15回	2人ペアでの経絡治療(69難型)	プリント、経概	患者着
第16回	2人ペアでの経絡治療(69難型)	プリント、経概	患者着
第17回	2人ペアでの経絡治療(69難型)	プリント、経概	患者着
第18回	2人ペアでの経絡治療(69難型)	プリント、経概	患者着
第19回	実技試験のための総復習	プリント、経概	患者着
第20回	実技試験		患者着

実務経験と本講義との関連について

自治療院での治療方法が経絡治療方式

令和4年度 授業計画書(シラバス)

メールアドレス

okamoto-t@nihonisen.ac.jp